

令和6年度(第29期)
アクロス福岡ヴァイオリンセミナー

受講生募集

～未来のヴァイオリニストを目指すあなたへ～

あこがれの旋律への第一歩

講師：景山誠治

桐朋学園大学教授



令和6年度(第29期)アクロス福岡ヴァイオリンセミナー

募集要項

(公財)アクロス福岡では、将来の音楽家を目指す若い方々を応援するため、令和6年度ヴァイオリンセミナーを開講します。当セミナーは平成8年度から実施しており、本年度も講師にヴァイオリニストで桐朋学園大学教授の景山誠治氏をお迎えします。このセミナーの狙いは、基本的な演奏技術の習得にとどまることなく、音楽性、音楽表現など音楽家として必要な資質を伸ばしてゆこうとするものです。現在ヴァイオリンを学んでいる皆さんの、奮ってのご応募をお待ちしています。

1. 講師 ————— 景山誠治(桐朋学園大学教授)
2. 受講期間 ——— 令和6年4月から令和7年3月まで
原則として土・日の連続2日、実施します。(全12期)
終了時には福岡シンフォニーホールでスプリングコンサート(受講生発表会)を行います。
3. レッスン時間— 1人1回45分×2日
4. レッスン会場— アクロス福岡 練習室
5. 実施形態 ——— 個人レッスン
6. 受講曲 ————— 勉強したい曲を講師と協議して決定できます。
ただし、コンクール課題曲・受験曲に偏らせることはできません。
7. ピアニスト ——— 通常のレッスンにはピアニストはつきません。
スプリングコンサート(受講生発表会)のピアノ伴奏者は(公財)アクロス福岡で手配します。
8. 対象者 ————— ヴァイオリンを学んでいる2001年4月2日から2014年4月1日までに出生した方
9. 募集人員 ——— 6~8名程度
10. 受講料 ————— 150,000円/年
11. 聴講 ————— 原則として非公開とします。ただし、ご家族、師事している先生、他の受講生の方は聴講できます。
12. 応募方法 ——— ①受講申込書と②デモ音源(動画)をアクロス福岡まで直接お持ちいただくか、郵送してください。
①受講申込書…………… 右の受講申込書に次の内容を記入のうえ、写真を貼り付けてご提出ください。
氏名(フリガナ)、生年月日、年齢、住所、自宅電話番号、携帯電話番号、FAX番号、メールアドレス、保護者名(自署)、学校名・学年、応募の動機および将来の希望、ヴァイオリン歴(始めた年齢、師事した先生、使用した教本、主な演奏曲、コンクール・演奏会歴など)
※油性ボールペンで、各項目枠内に収まるよう記入してください。
②デモ音源(動画)……… 最近6か月以内に演奏した5~15分程度の自由曲1曲(1つの楽章のみでも可)の動画をDVDに保存したものを基本とします。ラベルに氏名・演奏曲目を必ず明記してください。
13. 募集期間 ——— 令和6年2月1日(木)~2月20日(火)
14. 選考方法 ——— 書類とデモ音源をもとに、講師と(公財)アクロス福岡で選考します。
15. 選考結果 ——— 4月上旬まで(予定)にすべての応募者の方へお知らせします。
なお、応募書類、デモ音源は返却いたしません。
16. お申し込み先・お問い合わせ

公益財団法人アクロス福岡 事業グループ 芸術文化チーム

〒810-0001 福岡市中央区天神1-1-1 西館2F

TEL 092-725-9317 FAX 092-725-9102

※油性ボールペンで、各項目枠内に収まるよう記入してください。

受付番号

令和6年度 アクロス福岡 ヴァイオリンセミナー受講申込書

写真 (4.5×3.5cm)	(フリガナ) 氏名	生年月日(西暦) 年 月 日	年齢 歳
	住所 〒		
	自宅 電話番号	F A X 番 号	
	携 帯 電話番号	本 人 保 護 者	メー ル ア ド レ ス
保護者名(自署)		学校名・学年(令和6年4月現在) 年生	
応募の動機および将来の希望			
ヴァイオリン歴(始めた年齢、師事した先生、使用した教本、主な演奏曲、コンクール・演奏会歴などできるだけ詳しく記入してください)			
デモ音源の曲目(ラベルに氏名・演奏曲目を必ず記入してください)			
			(演奏時間 分)

※記入いただいた情報は、アクロス福岡ヴァイオリンセミナーの受講生募集を目的とした業務にのみ使用いたします。



©Masashige Ogata

講師：景山 誠治 Seiji Kageyama

東京藝術大学卒業。学内にて安宅賞受賞。在学中は海野義雄、浦川宜也両氏に師事。

全日本学生音楽コンクール小学生の部で全国第1位、2年後の同コンクール中学生の部で再び全国第1位となる。高校在学中、第46回日本音楽コンクールで第3位に入賞。海外派遣コンクール松下賞受賞。1980年第1回霧島国際音楽祭にて、霧島国際音楽祭賞を受賞。同年、民音コンクール（東京国際コンクール）室内楽部門第2位、斎藤秀雄賞を受賞。

1981年ヴィエニャフスキ国際コンクール入賞。ポーランド国内にて数々の演奏会に出演。1984年ロン＝ティボー国際コンクールで最高位（1位無し）、同時に3つの特別賞を獲得、演奏の確実性と豊かな表現力は、高い評価を受けた。以後、ヨーロッパでも演奏活動を開始、1985年にはピアノの小山実稚恵、チェロの山崎伸子とのトリオでの公演をヨーロッパ各地で行ったほか、特に1989年3月にドイツ民主主義共和国に招かれて、ベルリン・シャウシュピールでのリサイタルは大成功を収め、ワイマール、アイゼナッハ等、8都市のオーケストラにソリストとして招聘された。また、これまでにルツェルン祝祭管弦楽団、ベルリン・コミッシュオペラ・オーケストラ、シモン・ポリバル・オーケストラと共演。日本でも、主要オーケストラのソリストのほか、リサイタル、室内楽など多くの演奏会に出演し成功を収めている。特に、“チェコの巨匠”と謳われた、ピアニストの故ヤン・パネンカとは、デュオや室内楽で数多く共演し、絶賛を博した。

アクロス福岡では定期的なマスタークラス“アクロス福岡ヴァイオリンセミナー”にて若い才能の育成に力を注ぐほか、1998年～2002年の“アクロス福岡室内楽セレクションシリーズ”、2004年～“アクロス弦楽合奏団”のコンサートマスターとして参加しており、2014年には「第22回 福岡県文化賞（奨励部門）」を受賞した。

霧島国際音楽祭には、演奏家及びマスタークラス教授であると共に、同音楽祭企画委員として中心的な役割を務めた。

現在、桐朋学園大学教授。